

会 派 活 動 報 告 書

令和 7 年 4 月 3 日

岡谷市議会議長

今 井 康 善 殿

会 派 名 やまびこ

代表者名 山崎 仁

令和 6 年度における岡谷市議会 会派「 やまびこ 」の活動について、下記のとおり報告い

活 動 項 目	活 動 内 容 及 び 活 動 の 実 績 と 効 果
調査研究	○活動内容 令和 6 年 11 月 11 日～11 月 13 日（3 日間）会派視察 北海道 ○活動の実績と効果 （1）北海道旭川市：中心市街地活性化計画「旭川まちなみ回遊」の取り組み 「旭川まちなみ回遊」の取り組みでは、中心市街地活性化計画の策定により、中心市街地の「都市機能の増進」・「経済活力の向上」を推進することを目的に中心市街地活性化計画の策定を行った。都市機能の整備では、所有権等権利が大きな弊害となっており計画的な整備が進められないことは、岡谷市においても共通の問題である。また、市街地活性化計画の事業実施においてはハードによる整備が主で、官民連携や地域住民との積極的な関わりであるソフト面の取り組みが進んでいない印象だった。一方で、全国初の恒久的歩行者専用道路は、安心して買い物やイベント等日常を楽しむことのできる魅力あふれるエリアであり、こうした空間を作ることで、人の流れや回遊性のあるまちづくりをすることができる重要な拠点であると感じた。 岡谷市に反映すべき点 ・岡谷市とは規模が異なるため同様の事業の考えは難しいが、歩行者が安心して買い物やイベント等日常を楽しめる空間の創出は反映できる点である。岡谷駅からレイクウォークにかけての商店街の導線は旭川市駅前商店街と同様の位置づけであり、週末のみ歩行者専用道路等にするすることで、魅力的なまちづくりの創出にも繋がる。 ・市役所庁舎内を日常的に解放することは良い点で、1 階ロビーや 9 階に学生をはじめ市民が日常的に憩いの場として過ごせるフリースペースの導入を積極的に取り入れても良い。 （2）北海道東川町：地域活力を活かした教育環境と国際教育の推進 地域活力を活かした教育環境と国際教育の推進では、 広大な敷地と平屋建ての新しく建設された小学校を起点としたまちづくりは、ハード・ソフト

両面が効果的に作用することで初めて機能し、どちらか一方だけが優れていても、大きな効果は得られないと感じた。

- ・町の中での仕事自体は少なく、都市部に働きに出ている方が多い実情から、仕事がなくても魅力的な要素があれば、移住者が増えることを理解した。

- ・魅力的なまちづくりの視点では、学校教育と子育て支援をセットとした考えが必要で、教育施設等のハードの整備やソフト面の充実だけでなく、子どもを安心して生み育てることのできる環境の整備も進める等、子育て支援も合わせて進めることが重要と感じた。

岡谷市に反映する点

- ・写真文化の町をはじめ、豊富な水資源や大雪山「旭岳の町」、木工家具の町等様々な魅力あふれる要素に加え、新しく整備された東川小学校と給食費無償化をはじめとした子育て支援策や特色ある教育カリキュラムが魅力となり、定住人口が右肩上がりに推移していることは大変参考になった。

- ・ふるさと納税が16億、企業版ふるさと納税も5～6億と岡谷市と比べると桁違いな数字であり、返礼品は町特産のお米がほとんどとのこと。「ふるさと納税」ではなく「ふるさと株主」という発想で、他の自治体になかった新たな取り組みをすることで、差別化を図りまちの魅力度向上や価値の共創を進めている。

- ・2015年に開校した公立日本語学校は全国の自治体から注目を集めており、3ヵ月以上の滞在予定であれば住民要件を満たすため、留学生によって人口が年間約250人上乗せされ、地方交付税の増額に繋がっている

(3) 北海道江別市：生涯活躍のまち「ココルクえべつ」

生涯活躍のまち「ココルクえべつ」では、地域特性や人口減少などの課題を踏まえ、東京圏から移住してもらうのではなく、市内に住む江別市民が生涯にわたって安心して生活できるまちづくりや、若年層や障がい者など多様な市民との交流による「共生のまち」を実現するため、江別版「生涯活躍のまち」構想を平成29年3月に策定し、社会福祉法人日本介護事業団を代表法人とした、つしま医療福祉グループが事業主体となり「ココルクえべつ」を開設した。

- ・「ココルクえべつ」は障がい者の就労支援や高齢者福祉、市民交流の場等多機能施設であり、施設内では障がいを持つ方々が自信を持って働ける環境が整備され、市民が気軽に立ち寄り交流を楽しめるスペースもあり、地域全体がつながる場として機能している点が印象的だった。

- ・高齢者に対しては、生活支援や健康維持を目的としたプログラムが充実しており、多世代が交わる空間となっており、誰もが気軽に立ち寄ることのできるタウン型施設であった。

- ・「ココルクえべつ」は単なる施設にとどまらず、地域の課題を解決する拠点であり、多様な人々が共に支え合う社会の縮図であり、見学を通じ地域の中で互いに支え合うことの大切さと、誰もが役割を持ち活躍できる環境の素晴らしさ

	を再認識することができた。 岡谷市政に反映すべき点 ・多機能な施設は難しいが、障がい者や高齢者の地域全体を巻き込んだ交流の場の構築。 ・障がい者の就労支援や市民交流、高齢者支援を行う一体的な施設は効率的であり、地域全体を活性化する点で非常に有益である。 ・利用者が自分のスキルや可能性を活かせる、複数の具体的な就労機会を提供する取り組みは、社会的自立を促しつつ地域経済にも貢献する。 ・市民が気軽に訪れ交流できるオープンスペースの設置や多世代が自然に関わる工夫は、地域コミュニティの強化に繋がるため、孤立を防ぎ地域力を向上させる効果が期待できると考える。
研 修	○活動内容 ○活動の実績と効果
広 報	○活動内容 ○活動の実績と効果
広 聴	○活動内容 ○活動の実績と効果
要請・陳情	○活動内容 ○活動の実績と効果
そ の 他	○活動内容 ○活動の実績と効果

【活 動 実 績】

※会派活動報告書は年度ごとにまとめ、年度当該年度の収支報告書の提出に合わせ議長に提出するものとする。

※議長は、提出された会派活動報告書を収支報告書と同様に公開するものとする。